

# 令和元年度 盛岡視覚支援学校 教職員 働き方改革アクションプラン

～「ホウ・レン・ソウ」で学校を変えよう～



盛岡視覚支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

- ・勤務時間を越えて残業をしている者が固定化している。
- ・会議や行事の精選など、業務推進に効率化が求められている。

## 2 目指す姿

- ・教職員一人一人が、専門性を高め、やりがいを持って仕事に従事している。
- ・幼小中高の各学部が互いの情報を共有し、連携している。
- ・教材研究や専門性を高めるための時間や、幼児児童生徒と関わる時間が十分確保されている。
- ・教職員一人一人が日頃から意見を出し合い、お互いを尊重できる明るい職場作りが推進されている。
- ・管理職と教職員が日頃から信頼関係を築き、一人一人が自己肯定感を感じながら業務に取り組んでいる。
- ・課題解決への見通しを共有することで不安を解消し、柔軟な発想で具体的な提案ができる会議や打ち合わせが行われている。
- ・同僚性や協働する力により、心と身体の健康状態を保ちながら業務を推進している。

### 岩手県教職員働き方改革プラン(H30.6.19策定 県教委)

#### 【策定趣旨】

教職員の負担軽減が一刻の猶予も許されない喫緊の課題であるとの認識の下、強い決意で対策に取り組み、教職員が授業や授業準備等に集中し、健康でいきいきとやりがいをもって子どもたち一人一人に向き合うことができる時間を確保。

#### 【取組の方向性】

「教職員の負担軽減」、「教職員の健康確保等」の2本の柱により、取組を推進(H30は新規予算事業を含む22の具体的取組を推進)

#### 【プランの期間】

平成30年度(2018年度)～2020年度までの3カ年度(緊急的かつ重点的に対策を講じるもの。)

#### 【プランの目標】

- (1) 業務への充実感や安心感の向上
- (2) 県立学校における長時間勤務者の割合の削減

時間外勤務	取組期間	
	H30(2018)年度	2019・2020年度
80時間以上(月)	(対前年度) 3割減	(対前年度) 3割減
うち100時間以上(月)	(対前年度) 半減	ゼロ



≪2021年度以降  
できるだけ速やかに≫  
**長時間勤務  
ゼロ**

## 3 取組内容

### (1) 教職員の負担軽減

- ・管理職が学校の課題を明確にし、各種会議のテーマの一本化や行事の精選について積極的に提案します。
- ・業務が個々の職員に偏らないように、管理職が適宜指導をします。
- ・業務分担の適材適所を進め、分掌等の業務について年度途中であっても積極的に改善を進めます。
- ・ノー残業デーの取組について教職員全員で推進します。

### (2) 教職員の健康確保等

- ・職員の健康が確保されるように、有給休暇の取得について管理職が積極的に声掛けします。
- ・日頃からお互いに声掛けをして、悩み事が気軽に相談できる管理職への相談日を設けます。
- ・毎週水曜日をノー残業デーとして確実に実施します。
- ・休憩時間やトイレの時間を確保できる体制づくりをします。

## 4 目標

- ・週1回のノー残業デーの実施→全職員で実施
- ・1人で悩みを抱え相談できない教職員→0人
- ・健康区分D3・D2に該当する教職員→1割増
- ・月に1回以上有給休暇を取得する教職員→100%
- ・勤務時間外勤務の実績時間→1割減